

# 『観光クラウドWG』 検討体制について

事務局（ソフトバンクテレコム）

## 1. WGの概要

### 目標

観光立国の実現は地域経済の活性化、雇用機会の創出、国際相互理解の増進等に資するとされ、我が国の21世紀の国づくりの柱として、今後ますます取り組みを強化する政府方針となっている。この分野において、ICT技術を活用することで、中小を含む観光関連事業者が低価格で効率的に各観光サービスの提供ができる「観光クラウド」モデル作りの検討を行うこととする。 ①

### 課題認識

安心安全面も含め、国内の外国人観光客向けの多言語案内が絶対的に不足しており、地方自治体や中小事業者が個別に用意するのも経済的に困難である。また、観光客誘致のための情報内容や発信経路が大きく変化して来ているため、観光コンテンツの提供環境、規格形式、権利処理の問題から、利活用の際に障壁が存在する。さらに、震災後の自粛風潮や風評被害も深刻である。

### 具体的検討項目

#### STEP1: 情報収集

- ・外国人観光客の受入環境基盤。
- ・観光コンテンツの利活用課題。
- ・これまでのICT観光政策の検証。
- ・震災後の観光状況の把握。

#### STEP2: 課題検討

- ①多言語コンテンツの造作とその利用に関するルール作り、普及促進。
- ②自走式ビジネスモデルの構築。
- ③回遊調査、消費分析、安心安全の観光街作り等の研究。

#### STEP3: 具体化

- ①標準化等の公開と普及促進。
- ②モデル地域における実証実験。
- ③関連各省への政策提言検討。
- ④地域観光の復興と振興。

### 導入効果（目標）

観光事業分野にICTを活用することで、外国人観光客の訪問数を増加させるとともに地域活性化につなげることを目標とする。

②

③

## 2. WGの詳細

### 関連要素技術、サービス、システム

- ・観光客誘致等のための多様な観光コンテンツを、提供者と利用者が効率的に相互に利用するための『観光クラウドの構築』。
- ・情報通信技術を活用した観光コンテンツの効率的な多言語化（言語グリッド）システム。
- ・情報通信端末を用いた多言語化された安心安全情報の提供サービス（緊急地震速報等）や高度観光統計分析技術。

### グローバル化関連

- ② 訪日外国人旅行者数を将来的に3,000万人とすることを目標とした観光庁の訪日旅行促進事業（ビジット・ジャパン事業）に資するとともに、
- ③ 東日本大震災後の急激な訪日外国人観光客の落ち込みを早急に回復することをオールジャパンで実現する。

### 実施体制、役割分担

#### 幹事

ソフトバンク株式会社・ソフトバンクテレコム株式会社

#### メンバー

- ① 観光クラウド関連サービス提供企業、観光事業者、旅行代理店、交通事業者、宿泊事業者
- ② 学術研究機関、シンクタンク
- ③ 地方自治体、地域観光協会、地域振興NPO

■ オブザーバー：総務省、国土交通省観光庁、日本政府観光局、日本観光振興協会 ※敬称略

### 対政府要望①：予算、税制支援等

・観光クラウドの推進のために必要と考えられる支援等について、今後のWG活動にて検討していく予定。

### 対政府対応②：制度、規制緩和等

・観光クラウドの推進のために必要と考えられる制度、規制緩和等について、今後のWG活動にて検討していく予定。

提言の作成

ICT地域活性化懇談会  
提言

2011年7月

ICT地域活性化懇談会

特に、ICTを活用して地域の産品の流通に情報をリンクさせ、都市部等の住民と地域の住民の「思い」が互いに伝わる仕組みを作り出すことにより、都市部等の住民に地域とその活性化に対する「気付き」を考え、地方の名産品の購入、地場産業への投資や現地への旅行等を促すことが可能となる。

また、地域の伝統的な文化を維持・継承するとともに、新たな文化を創造する上で、ICTが重要な役割を果たすことが期待される。さらに、これら地域の文化をICTにより広く発信し、海外を含む他の地域との交流を進めていくことは、観光振興等に寄与するのみならず、住民が誇りと自信を持つことができる地域づくりにもつながることとなる。

これら地場産業・観光等の分野におけるICTの利活用を進めるため、1で述べた「ICT地域マネージャー制度」等を通じた支援を進めて行くべきである。また、観光分野におけるクラウドサービスの活用方策について、ジャパン・クラウド・コンソーシアム等の場を活用し、官民一体となって検討を進めていくことが望ましい。

(4) 教育の情報化

文部科学省の調査<sup>4)</sup>によれば、ICTを活用した授業の結果、授業後客観テストの結果が高く、また、児童の知識・理解や関心・意欲を高めることが実証されている。人づくりは地域活性化の根本を成すものであり、このような高い効果を有する教育の情報化は重要な役割を果たす。加えて、子供のみではなく、大人の社会教育の場が存在することも期待されている。

総務省においては、文部科学省と連携し、金児童・生徒一人一台のタブレットPCや全普通教室一台の電子黒板、無線LAN等が配備されたICT環境を構築し、その効果的・効率的な利活用を図ることを目的とする「フューチャースクール推進事業」により、主として情報通信技術面での実証研究を実施し、教育分野の情報化を推進している。

加えて、東日本大震災の際には、避難所となった体育館にTVチューナー内蔵の電子黒板を運び込み、体育館で過ごす避難者の情報入手手段として活用される等、学校施設のICT環境は災害時にも活用し得ることが示されたところであり、引き続き情報化を推進する取組を進めて行くべきである。

なお、取組を進めるに当たっては、単にICTという「道具」の導入・活用にとらわれるのではなく、ICTを活用してどのような教育・社会像を実現するのかという点を踏まえつつ行う必要がある。

<sup>4)</sup> 2006年度文部科学省委託調査「教育の情報化の推進に関する研究」参照。

[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000121425.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000121425.pdf)

これら地場産業・観光等の分野におけるICTの利活用を進めるため、1で述べた「ICT地域マネージャー制度」等を通じた支援を進めて行くべきである。また、観光分野におけるクラウドサービスの活用方策について、ジャパン・クラウド・コンソーシアム等の場を活用し、官民一体となって検討を進めていくことが望ましい。

# 1. WGの概要

## 目標

観光立国の実現は地域経済の活性化、雇用機会の創出、国際相互理解の増進等に資するとされ、我が国の21世紀の国づくりの柱として、今後ますます取り組みを強化する政府方針となっている。この分野において、ICT技術を活用することで、中小を含む観光関連事業者が低価格で効率的に各観光サービスの提供ができる「観光クラウド」モデル作りの検討を行うこととする。

## 課題認識

安心安全面も含め、国内の外国人観光客向けの多言語案内が絶対的に不足しており、地方自治体や中小事業者が個別に用意するのも経済的に困難である。また、観光客誘致のための情報内容や発信経路が大きく変化して来ているため、観光コンテンツの提供環境、規格形式、権利処理の問題から、利活用の際に障壁が存在する。さらに、震災後の自粛風潮や風評被害も深刻である。

## 具体的検討項目

### STEP1: 情報収集

- ・外国人観光客の受入環境基盤。
- ・観光コンテンツの利活用課題。
- ・これまでのICT観光政策の検証。
- ・震災後の観光状況の把握。

### STEP2: 課題検討

- ①多言語コンテンツの造作とその利用に関するルール作り、普及促進。
- ②自走式ビジネスモデルの構築。
- ③回遊調査、消費分析、安心安全の観光街作り等の研究。

### STEP3: 具体化

- ①標準化等の公開と普及促進。
- ②モデル地域における実証実験。
- ③関連各省への政策提言検討。
- ④地域観光の復興と振興。

## 導入効果（目標）

観光事業分野にICTを活用することで、外国人観光客の訪問数を増加させるとともに地域活性化につなげることを目標とする。

## STEP1: 情報収集

- ・外国人観光客の受入環境基盤。
- ・観光コンテンツの利活用課題。
- ・これまでのICT観光政策の検証。
- ・震災後の観光状況の把握。

## STEP2: 課題検討

- ①多言語コンテンツ作成と利用に関するルール作り、普及促進。
- ②自走式ビジネスモデルの構築。
- ③回遊調査、消費分析、安心安全の観光街作り等の研究。

## STEP3: 具体化

- ①標準化等の公開と普及促進。
- ②モデル地域における実証実験。
- ③関連各省への政策提言検討。
- ④地域観光の復興と振興。

## 導入効果・目標

- ・観光にICTを利活用して、
  - ①外国人観光客の訪問数を増加させる
  - ②地域活性化につなげることを目標とする。

### ①情報の共有



### ③解決方法



### ④ゴール



## STEP1: 情報収集

- ・外国人観光客の受入環境基盤。
- ・観光コンテンツの利活用課題。
- ・これまでのICT観光政策の検証。
- ・震災後の観光状況の把握。

収集方法

- 毎WGにて2~3の各社の取り組みを発表。
- 「観光C・WG通信」でイベント情報を共有。
- 「メーリングリスト」の活用(予定)。
- 現地視察やシンポジウムの開催(予定)。

## STEP2: 課題検討

- ① 多言語コンテンツ作成と利用に関するルール作り、普及促進。
- ② 自走式ビジネスモデルの構築。
- ③ 回遊調査、消費分析、安心安全の観光街作り等の研究。

### これまでに出了意見

- 観光統計情報関連
  - ※リアルタイム集計、可視化、分析システム。
- 翻訳や通訳関連
  - ※自動翻訳の精度、日本語原文自体の問題。
- 観光コンテンツの流通関連
  - ※コンテンツ所有者と情報発信者の立場の違い。
- 多様化する観光コンテンツと提供方法
  - ※規格化、標準化、相互互換のルール。
- 地域観光振興の課題
  - ※地域主体化、自立化(独立採算性)
- 被災地の観光事業復興関連
  - ※風評被害対策。
- 安心安全な観光サービスと防災減災
  - ※スマートタウン構想や緊急時非難誘導の研究。
- 外国人観光客向けの通信環境
  - ※Wi-Fiやモバイルデータ通信の普及改善。



- 多様化する観光コンテンツと提供方法  
※規格化、標準化、相互互換のルール。
  - 翻訳や通訳関連  
※自動翻訳の精度、日本語原文自体の問題。
  - 安心安全な観光サービスと防災減災  
※スマートタウン構想や緊急時非難誘導の研究。
  - 外国人観光客向けの通信環境  
※Wi-Fiやモバイルデータ通信の普及改善。
- 
- 観光コンテンツの流通関連  
※コンテンツ所有者と情報発信者の立場の違い。
  - 地域観光振興の課題  
※地域主体化、自立化(独立採算性)
  - 被災地の観光事業復興関連  
※風評被害対策。
  - 観光統計情報関連  
※リアルタイム集計、可視化、分析システム。

## 1. 技術・システムSWG

## 2. ビジネスSWG



- 翻訳や通訳関連
  - ※自動翻訳の精度、日本語原文自体の問題。
- 観光コンテンツの流通関連
  - ※コンテンツ所有者と情報発信者の立場の違い。
- 多様化する観光コンテンツと提供方法
  - ※規格化、標準化、相互互換のルール。

---
- 地域観光振興の課題
  - ※地域主体化、自立化(独立採算性)
- 被災地の観光事業復興関連
  - ※風評被害対策。

---
- 観光統計情報関連
  - ※リアルタイム集計、可視化、分析システム。
- 安心安全な観光サービスと防災減災
  - ※スマートタウン構想や緊急時非難誘導の研究。

---
- 外国人観光客向けの通信環境
  - ※Wi-Fiやモバイルデータ通信の普及改善。

## 1. 観光コンテンツ流通検討SWG

## 2. 地域観光振興SWG

## 3. 観光統計・防災研究SWG

## 4. 通信インフラ・タスクフォース

- 翻訳や通訳関連
  - ※ 自動翻訳の精度、日本語原文自体の問題。
- 観光コンテンツの流通関連
  - ※ コンテンツ所有者と情報発信者の立場の違い。

---

- 地域観光振興の課題
  - ※ 地域主体化、自立化(独立採算性)
- 被災地の観光事業復興関連
  - ※ 風評被害対策。

---

- 多様化する観光コンテンツと提供方法
  - ※ 規格化、標準化、相互互換のルール。
- 外国人観光客向けの通信環境
  - ※ Wi-Fiやモバイルデータ通信の普及改善。

---

- 観光統計情報関連
  - ※ リアルタイム集計、可視化、分析システム。
- 安心安全な観光サービスと防災減災
  - ※ スマートタウン構想や緊急時非難誘導の研究。

## 1. 国際観光SWG

## 2. 国内観光SWG

## 3. システムSWG

## 4. 観光統計・防災研究SWG

- 翻訳や通訳関連
  - ※ 自動翻訳の精度、日本語原文自体の問題。
- 観光コンテンツの流通関連
  - ※ コンテンツ所有者と情報発信者の立場の違い。

---

- 多様化する観光コンテンツと提供方法
  - ※ 規格化、標準化、相互互換のルール。
- 外国人観光客向けの通信環境
  - ※ Wi-Fiやモバイルデータ通信の普及改善。

---

- 地域観光振興の課題
  - ※ 地域主体化、自立化(独立採算性)
- 被災地の観光事業復興関連
  - ※ 風評被害対策。

---

- 観光統計情報関連
  - ※ リアルタイム集計、可視化、分析システム。
- 安心安全な観光サービスと防災減災
  - ※ スマートタウン構想や緊急時非難誘導の研究。

## 1. 海外向け観光情報発信SWG

## 2. 受け入れ環境整備SWG

## 3. 国内地域観光振興SWG

## 4. 観光統計・防災研究SWG